

## Jon T. Njardarson 教授 講演会報告 ～歪みがなければ、発展なし～



目で見る  
海外講師講演会

Lecture of Prof. Jon T. Njardarson  
- No Strain No Gain -

鈴木 至\*

Key Words : Strain Small Ring, Ring Expansion, Aza Cope Rearrangement

<開催時期>平成31年3月11日

<開催場所>大阪大学大学院工学研究科応用化学  
専攻C4-111会議室

<講師>  
アリゾナ大学 (The University of Arizona)  
Jon T. Njardarson 教授

平成31年3月11日に大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻のC4-111会議室において、アリゾナ大学から招聘したJon T. Njardarson教授の講演会を開催した。Jon T. Njardarson教授は3員環化合物の持つ環歪みを巧みに制御して、その環拡大を経て有用な天然物を合成する新奇な手法を開発している。講演会にはその最新の研究成果に触れる貴重な機会を求めて多くの参加者が集まり、盛況であった。

講演内容としては、まず目的の天然物を合成するにあたっての出発原料である小員環の網羅的な合成法を簡潔に説明し、そこから長い間活用されてこなかったアニオニックなaza-Cope転位を如何にして環拡大反応に応用したかを論理的かつわかりやすく説明された。講演タイトルにあるような環歪みが如何に反応を制御する上で重要なのかを随所で述べられていた。さらに、講演の終盤では、学生に化学の魅力を伝える教育的取り組みとして、創薬および化学反応に関して、わかりやすい図、絵や興味を引く

ようなポスター作製、さらには自作したスマートフォンのアプリによってゲーム感覚で問題を解き化学を勉強できるような工夫についても述べられた。以上の研究や教育に対する熱い思いに呼応して、参加者から多くの質問と濃密な議論が交わされた。

最後になりましたが、本講演会は生産技術振興協会の海外講師講演会奨励事業からのご支援を頂きました。関係各位に厚く御礼申し上げます。



自身の研究について発表する Njardarson 教授



多くの聴講者で溢れた講演会の様子



講演後に Njardarson 教授と阪大応用化学専攻教員集合写真  
(講演者右から4人目。報告者右端)



Jon NJARDARSON  
1970年2月生まれ  
The University of Arisona  
Department of Chemistry and Biochemistry  
Professor PhD.  
有機化学、有機金属化学  
E-mail : njardars@email.arizona.edu